編集者になろう!
- 同志社発!学生目線の情報リテラシー -

春・秋連結学期 | 京田辺校地開講科目

1. 目的・概要

the purpose and an outline

・「情報リテラシー」に関する書籍を作成し、日経BP社・日経パソコン編集部協力のもと、「電子書籍」という形で出版する。
・上記の書籍の発行に必要な、調査・企画・取材・記事執筆・編集作業を経験する。
・プロジェクトメンバーが編集作業を通じ、情報リテラシー・グループ作業能力・コミュニケーション能力を向上させる。

annual schedule

2012年	4〜5月	情報リテラシーの学習 メンバー間で情報リテラシーに関する共通意識を持つ 同志社大学の情報環境の調査 以上を通じて、発表・プレゼン・レジュメ作りの基本を学習	情報リテラシー／編集作業への理解を持つ
	6〜7月	書籍の内容の大まかな構成を決定 詳しい内容についての企画・発表・議論 学生に向けたアンケートの作成	大まかな書籍の指針を決定 ⇒学生生活4年間への全般的な情報によるサポート書に
	8月	決定した内容について取材 日経パソコン内での類似記事の調査	実際の編集作業への理解を深める
	9月	日経BP社での実習 調査・デザイナーとの書籍レイアウトの打ち合わせ	
	10〜11月	各取材、記事執筆、日経パソコンの記事の再編集	編集者の作業を理解し作業を進める
	12月	価格設定、校了に向け最終チェック、校了	
2013年	1月	日経BPストアにおいて発売開始	

2. 成果達成度

the achievement degree

実際に電子書籍を作成(『大学生活を変える!IT活用術』)。内容は大学生に必要な情報をリテラシーをまとめたものに。章構成は第一章がスマートフォンに関する情報リテラシー、第二章が情報セキュリティに関する情報リテラシー、第三章が就職活動に関する情報リテラシーをまとめ、全学年に対応した情報を提供。

詳しい内容は

・第一章:スマートフォン

→昨今、大学生に急速に身近になったスマートフォンを通じて情報リテラシーの基礎を伝えます。見落とされがちなスマートフォンのセキュリティや大学生に有効なアプリ、SNSサービスなど、より大学生に密着した情報を提供。

・第二章:セキュリティ

→大学生が陥りがちな情報セキュリティの落とし穴を「著作権」「迷惑メール」「パスワード」の観点から解説。その対策を提供し、情報リテラシーを深く学べる内容。

・第三章:就職活動

→ほとんどの大学生が通る道である就職活動を情報でサポート」。「メール作法」や「就職活動支援サイトの歩き方」「インターンシップ」という就職活動関連の情報から、企業の人事担当者へのインタビューも掲載。

以上を持って、大学生活全般において活用できる情報書籍を作成。

3. プロジェクトを通じて

through a project

無事、書籍を販売することができました。

その過程において、調査の段階で「情報リテラシー」「発表・プレゼン」「レジュメの作り方」を理解することができました。

企画段階では「何を伝えたいか」、「何を伝えるべきなのか」、「学生のニーズが何なのか」のバランスを取ることが難しく、また、メンバー全員が納得のいく形にもっていくことがとても困難でした。結果として、調査と議論を重ねることにより、一つのまとまった書籍の形にできました。このことで、グループ作業による協力の基本や意見調整、いかにメンバーに自分の意見を伝えるかというコミュニケーション能力が培えたと思っています。

また、このプロジェクトは編集者の仕事を体験するものです。一般的にイメージしにくい編集者の体験ができ、自分の意図を「どのように読者に分かりやすく伝えるか」ということを学びました。そのことに関連し、画像を用い視覚的に訴えるレイアウトの構成や文章の書き方を学ぶことができました。

さらに、プロジェクト科目期間、すなわち一年間という限られた期間の中で、自分たちがどこまでできるか、やらなければならないことは何かを意識して行動することで、社会で必要なスケジュール管理やタスク管理も同時に学ぶことができました。

これらの能力を1年の議論・作業の繰り返しでメンバーが身に着けることができました。このことはこれからのメンバー全員の社会生活において、大きな意味を持つことになると思います。

[編集後記]

今回、このプロジェクト科目を総括するに当たっては、困難だったこと、苦しかったことばかりが思い出されます。スケジュール管理をして締め切りに追われたこと、他の授業などとの両立、メンバー間の意見の調整など･･･。メンバー間のことについてはほぼ何もできずに終わってしまいました。ふがいないリーダーでしたが、皆は文句も言わず作業を最後までやりきってくれました。このような書籍という形になったのはメンバーのおかげです。

このプロジェクト組織というまったくバックグラウンドの違うメンバーたちと共同で作業し、結果が残せたことは私の大きな糧となると思う次第です。メンバー、また、指導してくださった諸先生、TAの方にはこの場を借りて感謝を伝えたいと思います。

この我々の一年間の成果が、一人でも多くの学生の手に渡り、役に立つ日がくることを願ってやみません。

[プロジェクトメンバー]

杉 尚人(文4)　柏本 尭也(法2)　奥田 知美(法2)　塩田 千夏(経済2)　近藤 みなみ(商3)　矢野 康博(商2)　新井 弘和(文化情報3)
能島 佳代(文化情報3)　中谷 日向子(文化情報2)　山下 勝也(TA)